

お知らせ

記者発表資料
 配布日時

平成27年1月30日
 11:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



中国地方整備局管内における**重点「道の駅」**を選定しました
 ～地方創生の核となる「道の駅」を重点的に応援します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1040箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。

国土交通省では、この「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置付け、関係機関と連携して特に優れた取り組みを選定し、重点的に応援する取り組みを実施します。

今般、中国地方整備局管内における重点「道の駅」として、以下のとおり選定されましたので、お知らせいたします。

<国土交通大臣選定>

○全国モデル「道の駅」 1 駅

※地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの

○重点「道の駅」 5 駅

※地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

<中国地方整備局長選定>

○重点「道の駅」候補 2 駅

※地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

道路部 地域道路調整官 たかはし 高橋 としあき 利彰 （内線4118）

【担当】道路部 道路計画課長 おかもと 岡本 まさゆき 雅之 （内線4211）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 さかもと 坂本 しげゆき 繁幸 （内線2117）

企画部 環境調整官 た お 田尾 かずや 和也 （内線3114）

中国地方整備局管内の重点「道の駅」一覧

全国モデル「道の駅」(国土交通大臣選定)

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、さらなる機能発揮を重点支援

- ・ 山口県萩市 ^{はぎ} 道の駅「萩しーまーと」

重点「道の駅」(国土交通大臣選定)

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し重点支援

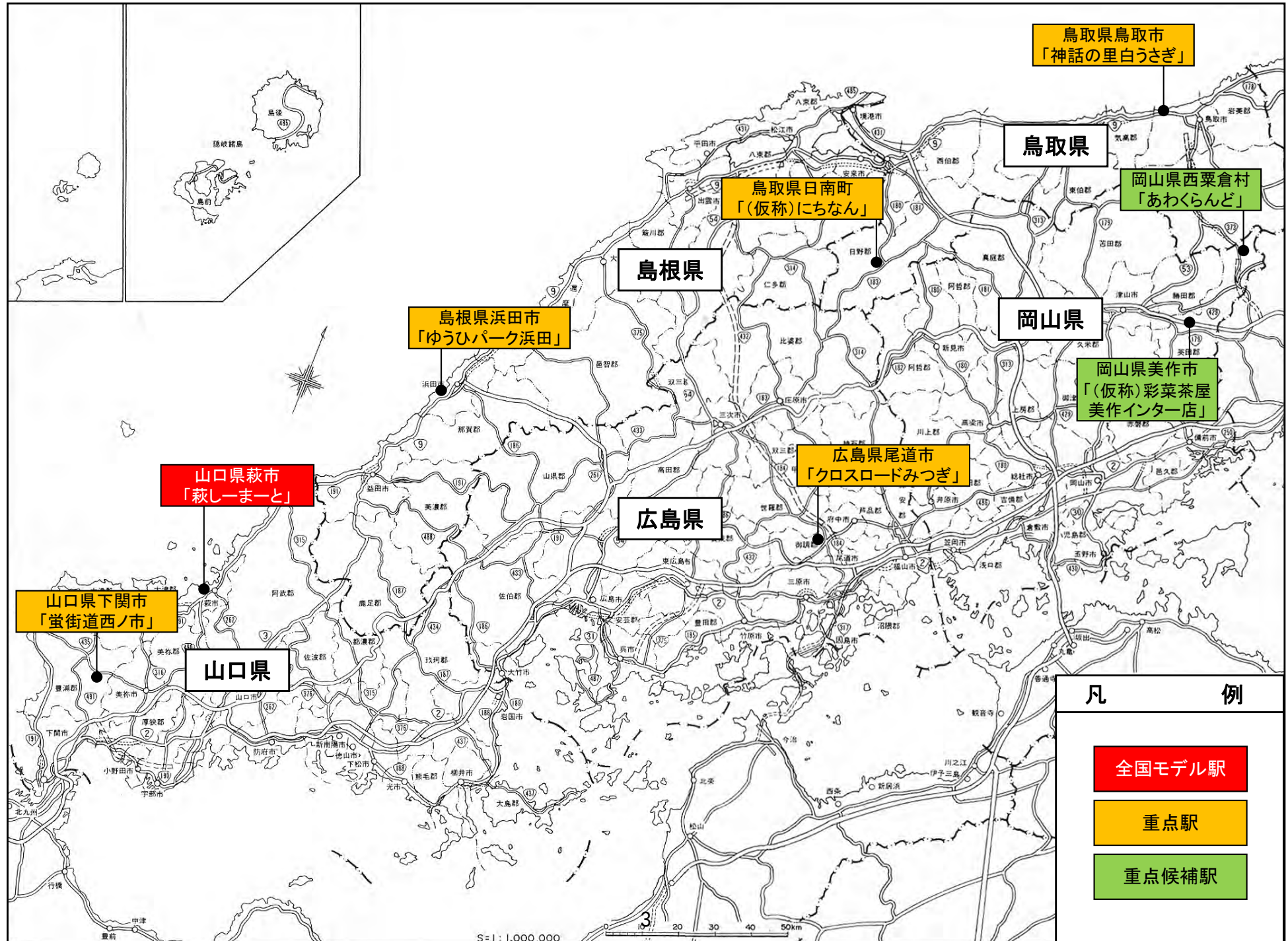
- ・ 鳥取県鳥取市 ^{とっ とり} 道の駅「神話の里白うさぎ」
- ・ 鳥取県日南町 ^{にち なん ちょう} 道の駅「(仮称) にちなん」
- ・ 島根県浜田市 ^{はま だ} 道の駅「ゆうひパーク浜田」
- ・ 広島県尾道市 ^{おの みち} 道の駅「クロスロードみつぎ」
- ・ 山口県下関市 ^{しも の せき} 道の駅「蛸街道西ノ市」
^{ほたる かい どう にし の いち}

重点「道の駅」候補(中国地方整備局長選定)

関係機関が連携し、企画検討等を支援

- ・ 岡山県西粟倉村 ^{にし あわ くら そん} 道の駅「あわくらんど」
- ・ 岡山県美作市 ^{みま さか} 道の駅「(仮称) 彩茶屋美作インター店」
^{さい さい ちゃ や みま さか}

中国地方整備局管内の重点「道の駅」選定箇所（全国モデル「道の駅」、重点「道の駅」、重点「道の駅」候補）



- 隣接の漁港で水揚げされた海産物が直接店頭に並ぶ新鮮さを特長に、地元のニーズにこたえる「道の駅」を展開。
- 売り場面積1m2あたりの売上高は、一般的なスーパーの約2倍。約100名の雇用を創出。
- 値も付いてなかった魚を加工品として商品化する「萩の地魚もったいないプロジェクト」を推進し、漁業者の所得向上に寄与。

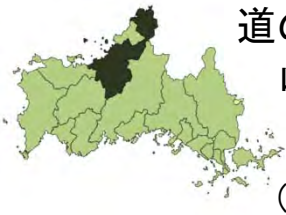
年間利用者：約140万人 販売額：約10億円 雇用：約100名

道の駅「萩しーまーと」

山口県萩市

（人口 約5万4千人
面積 約700km²）

（主）萩川上線（単独型）



萩漁港の水揚げ高の約15%を販売し、地産地消に寄与。
魚食普及・食育の拠点として地域活動を実施

- 魚食普及・食育の拠点機能として、子供向けの地魚料理教室や出張授業を積極実施



地魚料理教室



賑わう鮮魚売場

- ・ 売場面積 1m2あたり年間売上高の比較
萩しーまーと : 101.2万円（約2倍）
スーパー（平均） : 50.9万円
- ・ 萩漁港の水揚げ高 約35億円（H24年度）
うち萩しーまーとへ出荷：約5億円（約15%）

地元加工業者と連携して生み出したヒット商品は、地域全体の活性化に貢献。



- ・ 金太郎（ヒメジ）
約15cmの小魚で漁獲の対象にならなかったが、鮮魚や加工品として販売し、お土産として人気。
魚価：約230円/kg → 約270円/kg



観光庁、農林水産省の
優良事例に選定

萩の地魚もったいないプロジェクト開発商品

魚価の向上

漁業者の所得向上

地元加工業者
と連携

地域一体で6次産業化

道の駅で販売

受賞による認知度向上
で更に販売向上



萩漁港の魚市場に隣接し、海産物を直接入荷

重点「道の駅」 道の駅「神話の里 白うさぎ」

- 神話「因幡の白うさぎ」を中心に、山陰海岸ジオパークの地形地質遺産、古代山陰道の遺跡など歴史や自然の継承を担う
- 歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点を担う施設を目指す

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

神話『因幡の白うさぎ』

● 淤岐の島に住む1匹の白兎が海を渡るため鯨を騙したが、鯨の逆鱗に触れ毛皮をはがされてしまう。白兎が痛みで泣いていたところ、因幡の国に住む八上姫をめとろうと通りかかった大国主命の兄神に、面白半分に海水で体を洗うように言われ、ますます容態が悪化してしまう。

◎ 苦しむ白兎に、遅れて通りかかった大国主命が正しい対処方法を受けたところ、白兎の容態はみるみる回復した。たいそう喜んだ白兎が、お礼として大国主命と八上姫との縁を取り持った物語である。

<連携拠点イメージ>

周辺「道の駅」と連携

白兎神話エリア

神話「白うさぎ」

ジオパーク

マリンスポーツ

体験・滞在観光

近隣エリア

古代山陰道遺跡

民話「湖山長者」等

ジオパーク
(湖山池・吉岡温泉)

体験・周遊観光

「道の駅」
神話の里白うさぎ

観光総合窓口

神話を中心に歴史・自然の観光を展開

産業振興

タイアップ商品や地元産品を活用

交流促進

公共交通の乗継拠点化、生きがいがづくり

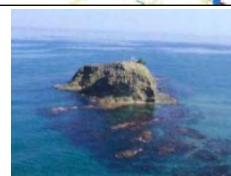
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
神話の里 白うさぎ	鳥取県	鳥取市	国道9号	既設	平成17年	一体型

周辺「道の駅」と連携する
仕掛け

- ★ 白兎神話を元にした商品
 - 大国主命は、「道の駅 神話の里白うさぎ」のみで販売
 - 八上姫は、「道の駅 清流茶屋かわはら」のみで販売
 - 2つ集めると台紙がハートマークとなる



大国主命 八上姫



淤岐の島



白兎神社



古代山陰道の出土品

白兎観光協会
ボランティア

<実施内容>

- 地形地質遺産や古代山陰道出土品の展示施設、神話学習コーナーを整備。さらに体験・周遊観光のためコミュニティバスを運行
- 周辺道の駅と連携したタイアップ商品、特産品の開発・販売
- 道の駅に観光協会職員を配置し、地域ボランティアガイドと連携した“おもてなし”を実践
- マリンスポーツやジオパークウォーキングの拠点化、スタッフ配置
- 長時間の滞在や休憩が可能な、緑陰広場を整備

<提案の先駆性・ポイント>

- 神話「因幡の白うさぎ」、山陰ジオパークなど地域の歴史や自然を題材とした、広域に渡る他の「道の駅」との連携を実施中。神話に関連したマスコットの販売や、新商品の開発により広域的な観光・地域振興が期待できる。
- 鳥取自動車道、山陰道の整備が進む中、くつろぎをテーマに滞在可能な休憩施設を整備。道の駅が拠点となり周遊観光による交流・産業振興を促進する。

- 「道の駅」を6次産業化推進による雇用機会の創出、交流の拡大を担う地場産業の商業拠点ゾーンとして整備
- “創造的過疎の創生”として、「道の駅」が媒体となって高齢者と若者が交流できる拠点を形成。地場産業を創出し、地方移住や社会福祉支援の拠点機能を「道の駅」が担う

＜地方創生拠点としての機能＞ 地域センター型

産業振興
地場産業の振興・
雇用創出

地域福祉
高齢者・定住促進
住宅併設

地方移住等促進
空き家・就労情報
提供

インバウンド観光
電気自動車による
周遊観光

観光総合窓口
観光イベント
情報提供

防災
後方支援拠点



【日南町で進行する高齢化】

・人 口: 5,308人(H26.3)
・高齢化率: 46.2%(H26.3)

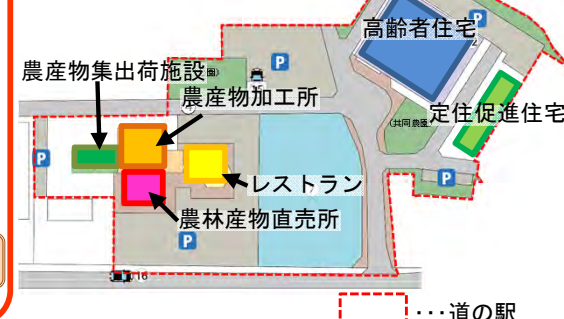


20年後、2035年の推計では
・人 口: 約3,000人まで減少

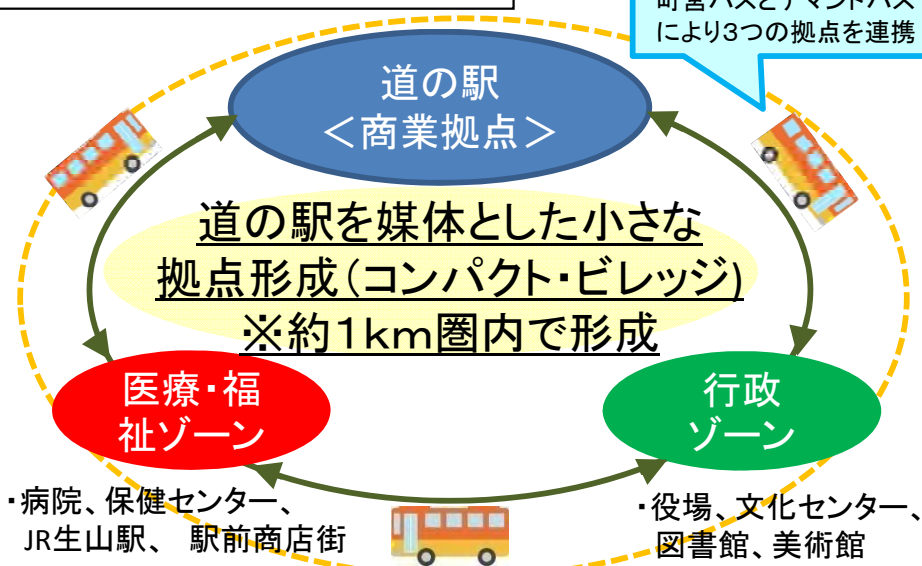
目指す方向

集客交流や地場産業の振興(6次産業化推進)

道の駅「にちなん(仮称)」
施設配置案



町の中心地整備による拠点形成(イメージ)



魅力ある拠点づくりによる移住定住の促進

高齢者住宅
多世代交流
定住促進住宅



○その他
空き家情報や
就労情報など、
ワンストップで提供



＜実施内容＞

- 特産品(トマト)のブランド化、6次産業化による地場産業の振興と雇用創出
- 高齢者向け住宅と定住促進住宅の併設による多世代交流と地域公共交通ネットワークの拠点としての整備
- 空き家情報、就労情報等地方移住に必要な情報の提供
- レンタル電気自動車を配備し、町の観光ルートをナビで案内
- 地域の観光案内、体験・交流機会の提供、近隣の道の駅とタイアップしたイベント開催
- 緊急時に広域支援部隊が参集する後方支援拠点及び緊急避難所の整備

＜提案の先駆性・ポイント＞

- 道の駅を中心に小さな拠点を形成。高齢・過疎地域で若者と高齢者の交流の場が創出され、社会福祉効果が期待される。
- 道の駅が地域の商業拠点ゾーンとなり、6次産業化の推進など産業振興・雇用創出効果が期待できる。

- 島根県内で唯一山陰道に直結する道の駅、夕日と日本海が眺望できる絶好のロケーションを活かし地域交流の拠点を再整備
- 女性スタッフを中心に、女性の嗜好に合わせた施設内外装のリニューアルを実施。女性スタッフ増強による雇用機会創出を行う
- 地域の女性・若者の交流拠点、地域産品のグルメスポット、石見の縁結びスポットとして、イベント開催や地域情報を発信

<地方創生拠点としての機能>

地域センター型

「五地想(ごちそう)ものがたり」
“はまごち”によるお客様のもてなし

○ 浜田市では、旧5市町村の風土と食文化への想いを「五地想(ごちそう)」という言葉に込めて、海と山に囲まれた豊かな食材へのこだわりとおもてなしの心を持ってお客様をお迎えし、食の魅力あふれるまちづくりを実施。

○ 「道の駅」では、“はまごち”料理の提供とあわせ、「五地想ものがたり」のPRを行う。

産業振興
地域産品のオリジナルレシピを発信

地方移住等促進
女性スタッフを地域おこし協力隊制度で採用

観光総合窓口
地域資源を活かした体験交流機会の提供

ゆうひパーク浜田リニューアルイメージ図

全景イメージ図



イベント広場イメージ図



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ゆうひパーク浜田	島根県	ゆうひパーク浜田(株)	国道9号	既設	平成5年	一体型

美しい海を活用した空間創り

五地想(ごちそう)ものがたり
浜田の食文化情報発信

女性運営スタッフの活躍

女性スタッフの“手作りボード”
によるおもてなし情報提供

<実施内容>

- 夕日、日本海が眺望できるテラスの設置、イベント空間の再配置(トイレ移設、通路・ドッグランの設置等)
- 空間コーディネーターによる女性の嗜好にあわせた内外装リニューアル
- 著名シェフによる地元産品を活かしたオリジナルレシピの開発、提供
- 運営スタッフの増強による雇用創出・定住化を促進
- 街コンや異業種交流会を開催、婚活アドバイザーをイベント的に設置

位置図



浜田の五地想地域(旧5市町村)

ゆうひパーク浜田から
望める夕日・日本海

<提案の先駆性・ポイント>

- 女性スタッフが中心となって、女性の嗜好に合わせた道の駅施設内外装のリニューアルやイベントを実施し、道の駅を若者の交流拠点として活用する計画。
- 「五地想ものがたり」として地元産品を活かした食文化を道の駅から発信。食による地域のつながり、地元産品消費拡大、雇用創出の効果を期待。

- 地元の高校と連携し、「道の駅」が6次産業化商品開発など地域産業展開の拠点機能を担う。さらに「道の駅」を媒体として、地元企業や農業への就労を促す
- 無料高速道路供用の交通結節点として地の利を発揮、広域的な情報発信や特産品の販売、食の提供などにより集客を強化さらに、交通量の減少となった現道を活かし、オートバイ・自転車利用者の利便性を向上、新たな観光振興策を創出

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

産業振興

地元高校と連携した商品開発・販売
地産地消を推進する6次産業化商品の開発・販売

地方移住等促進

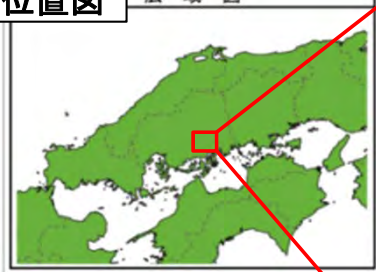
地元高校生対象としたインターンシップの実施

観光総合窓口

オートバイ・自転車利用者への案内機能

位置図

広域図



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
クロスロード みつぎ	広島県	尾道市	国道486号	既設	平成13年	一体型

これまでの取り組み



高校生が考案したご当地ヒーロー「ミツギレンジャー」による地域振興

これからの取り組み



高校生が開発した地元野菜を使ったハンバーガーのオリジナル商品化

道の駅「クロスロードみつぎ」の取り組み

- 尾道松江線が平成26年度に全線開通予定であり、道の駅が拠点となって、開通後の現道沿線地域を盛り上げる。
- 尾道松江線全線開通を契機として広域からの集客を図るため、道の駅のリフレッシュ工事を実施中。地元高校と連携した地域振興を行っている。



高校生が地元企業と共同開発した「ミツギレンジャーせんべい」



二輪車駐車場の整備
(道の駅を利用するバイク利用者)

<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅と地元高校が連携し、6次産業化商品の開発などインターンシップを実施中。地元での雇用創出を期待。(H24年は地元高校生が道の駅に1名就職)
- H26年度は道の駅のリニューアルを実施、立地条件を活かした他の道の駅との連携企画やオートバイ・自転車の活動拠点となることが期待される。
- 道の駅を中心に、金融機関や行政機能が集中して立地。旧御調町の拠点として、住民が利用しやすいよう小さな拠点が形成されている。

<実施内容>

- 地元高校と連携したオリジナル商品の開発・物品販売に向けた6次産業化の推進、地元高校生を対象としたインターンシップの実施
- オートバイ・自転車のロードマップ作成、インターネット情報提供、二輪車駐車場の増設
- 道の駅施設の再編実施中。駐車場の増設、産直市の増設、レストランの増床、トイレの全面改修、情報案内コーナーのリニューアル、金融機関の一体化、役場駐車場等の利用

- 「道の駅」を拠点に、地元11団体が構成された「豊田ほたる街道の会」が、室町時代からの大陸貿易の“肥中街道”、毛利氏の拠点萩と赤間関(下関)を結ぶ“赤間関街道”の歴史・文化を伝える活動を実施
- 田園にホテルが乱舞する豊かな自然環境を伝承する“ほたる舟ツアー”を「道の駅」で運営
- これらの活動を通じ、地域振興を担う人材育成を「道の駅」で行う

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

豊かな自然に舞う“ほたる”と
歴史ある“街道”で地域づくり、人づくり

- 豊田地域は、大内氏の大陸貿易の玄関となった「肥中」と「山口」を結ぶ“肥中街道”、毛利氏の拠点「萩」と「赤間関」を結ぶ“赤間関街道”が交差する交通の要衝として「市」で栄えた街。また、“ほたる”が乱舞する自然豊かな町でもある。
- 当地域では、道の駅を拠点に、地元・観光協会など11団体が構成される「豊田ほたる街道の会」が、荒廃した“肥中街道”の再生や“ほたる”の生息環境保全に取り組んでいる。
- 道の駅では、これら自然・歴史・文化等の活動を通じ、地域内外との交流を支える人材育成に取り組んでいる。



荒廃していた肥中街道を再生



■ 肥中(ひじゅう)街道と赤間関(あかまがせき)街道

道の駅を起点に肥中街道を歩く
梨の花ウォーク“地域づくり・人づくりフォーラムin豊田”
地域交流及び人材を育成

「道の駅」入口・長屋門

地方移住等促進
観光協会事務所設置、スタッフ増強

産業振興

6次産業化商品の強化、ブランド開発
生産者からの調達による雇用機会創出

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
螢街道西ノ市	山口県	下関市	県道34号	既設	平成16年	一体型



自然豊かな豊田町の田園風景を基調に、昔ながらの農村集落をイメージした駅舎

<提案の先駆性・ポイント>

- 地元団体が道の駅を拠点に歴史・文化を活かした交流イベントやホテルの環境保全活動を実施中。道の駅は地域振興を担う人材教育の場として貢献。
- 「道の駅」内に観光協会事務所を設置、スタッフを増設、交流型イベントを強化
- 「道の駅」内加工所の6次産業化商品を増強。「道の駅」による産業振興、雇用創出の効果が期待される。

<実施内容>

- 利用者からの要望が多い温泉施設をバリアフリー化するなど改修整備を実施、施設の稼働率を向上させる
- 「道の駅」内の6次産業化商品の開発を強化。雇用機会の創出を行う
- 情報コーナーに観光協会事務所を新たに設置、スタッフの増強を行う。また、外国人観光客案内所(JNTO認定)登録への取り組み
- 「道の駅」内への公衆無線LAN設置

- 地域の森林資源を活かした“百年の森林構想”に基づき、「道の駅」が産業のゲートウェイとなり地域づくりに必要な事業を展開
- 「道の駅」が西栗倉村の窓口となって、戦略的観光企画、特産品販売、就労・空き家情報のコーディネート役を実施、上質な田舎を全国に向け発信。また、高齢者向け買い物支援や災害時の防災拠点としてセーフティネットの役割も担う

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

『西栗倉村 百年の森林構想』

これまで個々の森林所有者の手によって育まれてきた約50年生の森林を今後も適切に管理し、美しい100年生の森林に囲まれた上質な田舎の実現を図る。

実施内容は、木材品の製造販売や農産品販売、体験型ツアーなど、地域資源の循環的な利用を目指す取り組みを行っている。



地域の森林資源を最大限活用



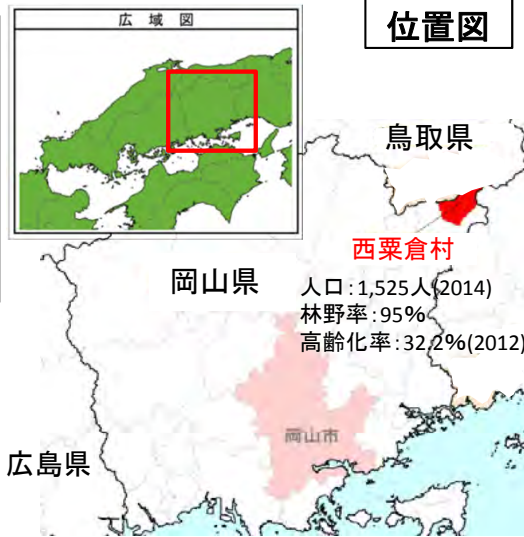
木材品の加工販売



竹林伐採ツアー(体験型ツアー)



キノコ狩りツアー(体験型ツアー)



地方移住等促進
就労者支援、Iターン、空き家情報

観光総合窓口
体験型の観光企画展開

地域福祉、防災
買い物支援、防災機能強化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
あわくらんど	岡山県	西栗倉村	国道373号	既設	平成6年	単独型

企画提案イメージ

観光と地方移住促進の
総合窓口
“あわくら5050STATION”
【西栗倉村観光づくり協議会】

<観光総合案内>

森林資源を活かした
観光展開

<地方移住促進>

Iターン移住者への
就労支援・空き家
情報提供

道の駅リニューアル
施設一体化・再編
「あわくらんど」
「あわくら旬の里」

<特産品販売>

木工品・家具・6次
産業加工品の販売

施設一体化・再編



あわくらんど

あわくら旬の里

<地域福祉・防災>

高齢者の買い物支
援・防災機能強化

道の駅が西栗倉村
の拠点として、
観光・地方移住・特
産品販売等をア
ピールする。

木質バイオマス・太陽光・水力等
再生可能エネルギーによる災害
時バックアップ機能の整備

※「道の駅」総合窓口“あわくら5050STATION”

西栗倉村の過去50年と未来の50年、100年の取組みに思いを込め、百年の森構想とリンクした名称

<実施内容>

○「道の駅」リニューアル整備

既存施設「あわくらんど」と「あわくら旬の里」を一体化・リニューアル整備
駐車場・トイレの新設・改修、施設内の導線の見直し、災害時バックアップ機能
の他観光と地方移住促進の総合窓口“あわくら5050STATION”を設置

○「道の駅」ショールーム化

観光総合案内、地方移住促進、木工品・家具、6次産業加工品販売等の
スタッフ拡充。

高齢者向け買い物支援・農産品集荷支援を実施していく予定。

<提案の先駆性・ポイント>

- 地域の森林資源を活かした“百年の森林構想”に基づき、道の駅が西栗倉村の拠点となって、様々な事業の人材募集等を行うと共にコーディネートを実施
- 道の駅を窓口、集落維持に必要なIターン者などをターゲットにした募集や空き家情報、木材品など特産品のショールーム化を展開
- 道の駅で観光総合案内を実施、自然を活かした体験型の観光企画を展開
- 道の駅による過疎地域での産業振興、地方移住促進の効果が期待される

- 市内企業に従事する外国人居住者の交流の場・生活支援の拠点として「道の駅」を整備、サポート体制を構築
多文化共生の交流施設を目指すとともに、ベトナムソラ省との友好都市として連携を強化
- 高速道路IC近接の立地を活かし、美作市の観光案内、地方移住促進の総合窓口としてゲートウェイの機能を担う

<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

インバウンド観光
外国人居住者の活動拠点
観光情報発信

観光総合案内
美作市観光のゲートウェイ

地方移住等促進
外国人居住者への生活支援
空き家情報・就労情報等の提供

位置図



計画中の「道の駅」と
既存「道の駅 彩菜茶屋」の
機能分担を図り、地域の活性化をねらう

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
彩菜茶屋 美作インター店(仮称)	岡山県	美作市	(県)美作奈義線	新設	平成28年 (予定)	単独型

彩菜茶屋 美作インター店(仮称)



既存施設(物産販売所)を「道の駅」としてリニューアル整備



既存「道の駅 彩菜茶屋」



市内企業で働くベトナム人



外国人居住者との交流



ソラ省との連携強化

<実施内容>

- 英語で話せるスタッフを配置。外国人 観光案内所の認定取得。
観光協会と連携、総合観光案内を実施
- 道の駅に無料公衆無線LAN、EV充電器を整備
- 空き家情報、就労情報、ふるさと納税情報などを「道の駅」で実施
- 文化交流施設にてベトナムの伝統的フェスティバルを開催

<提案の先駆性・ポイント>

- 美作市は少子高齢化・人口減少の対策として、外国人の雇用増加に取り組む。「道の駅」が地域の多文化共生支援サポートの拠点施設となる
- 外国人の生活支援を「道の駅」で実施することにより、ベトナム ソラ省との交流連携が強化される
- 美作市のゲートウェイとして内外の交流促進・生活拠点としての機能を期待

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



《重点「道の駅」に想定される機能》

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、
海外対応ATM 等

地方移住等の促進
地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興
地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上
診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援

重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援